港区立みなと芸術センターシンボルマーク作成等業務委託 事業候補者選考【一次審査結果】

委員 委員 🚓	(事業者 委員 委員 委員 委員	員	A事業者 B事業者 (株式会社SIGNING)						委員	委員		評価の視点]		
IV V D	I I II III IV	/ 🖽 🖽		I	HPI	V	IV	I	I	I		局採点)	1 基本事項の		
		75		5	75)' ₀	 ・シンボルマーク制作の類似業務の実績(デザイン関連の受賞歴含む)を有しているか。 ・シンボルマークを活用した取組を提案し、実現した類似業務の実績を有しているか。 【点数(内訳)】 1 3~15pt 5点、10~12pt 4点、7~9pt 3点、1~6pt 2点、0pt 1点 ①シンボルマーク制作の類似業務の実績:1事業1pt、2事業2pt…5事業以上5pt ②デザイン関連の受護:ならいのた、1回あり3pt、2回以上2pt…5事業以上5pt ③シンボルマークを活用した取組を提案し、実現した類似業務の実績:1事業1pt、2事業2pt…5事業以上5pt 	1					
采点	事務局採品	30	事務局採点	0	事務局採点 30				・・5件以上5pt ・・5件以上5pt	・担当者又は技術者が、求める経験年数を満たしているか。 (事務局が客観的視点により採点) [点数 (内訳)]) 9~10 pt 5点、7~8 pt 4点、5~6 pt 3点、1~4 pt 2点、0 pt 1点 ①業務責任者の同種業務の実績(総括責任者):0件0 pt、1件1 pt、2件2 pt・・・5件以上5 pt ②業務担当者の同種業務の実績(担当者の平均):0件0 pt、1件1 pt、2件2 pt・・・5件以上5 pt	2				
		15		5	5			: 2点	・担当者又は技術者が、他の業務(案件)を担当せず、本件について専任となっているか。 (事務局が客観的視点により採点) [点数 (内訳)] 担当者又は技術者の専任の有無 ・業務責任者が専任、業務担当者 (1名以上) が専任:5点 ・業務責任者が専任、業務担当者の専任がいない:4点 ・業務責任者が他に1件兼任 (業務担当者の選任は問わない):3点 ・業務責任者が他に2件又は総額500万以上を兼任 (業務担当者の選任は問わない):2点 ・業務責任者が他に3件以上以総額500万以上を兼任 (業務担当者の選任は問わない):1点	3					
16 16 満点 1	16 16 16 1		4 24 24 24 24 満点			2 22 満点	22 22	2	2 27	;		一次審査 小計①			
平均 16		均 24.0	平均	0	平均 22.0						2 企画提案の				
女=記入数値	各選考委員評価×係数=記	直	考委員評価×係数=記入数値	各選		入数値	係数=記え	評価×	考委員	各			(1)基本姿勢に		
15 10	15 25 15 1	20 120	5 25 25 25 20	5 25	85	5 10	20 15	5	5 25		、その実現に有効	考え方 ・業務の目的や内容を正しく理解しているか。 ・港区の文化芸術や、みなと芸術センターの整備方針及び役割、目的を正しく理解し、その実現に有効な方針が示されているか。	ア (2)提案内容に		
21 28 1	28 28 21 2	28 126	1 28 28 21 28	7 2	147	5 21	35 35	5	1 3!			・みなと芸術センターのイメージや特徴を表現しているか。 ・決定した愛称の意味や語感を的確に視覚化しているか。 ・地域特性を踏まえ、公共施設のシンボルとしてふさわしいデザインか。 ・ユニバーサルデザイン(区が定める「港区パリアフリー基本構想」及び「港区カラーパリアフリーカイドライン」)や多様性に配慮しているか。 ・今後、数十年にわたり使用することができる、親しみやすく飽きないデザインか。	7		
15 15	15 25 15 1	20 90	0 20 15 15 20	5 20	95	0 15	20	0	0 20	;		展性 ・提案は、独自性、独創性、創造性、新奇性に富む内容となっているか。	1		
21 21 1	21 21 21 2	35 147	8 35 28 21 35	3 28	133	3 21	28 28	8	8 28	1	っているか。 5れているか。 5いるか。	・みなと芸術センターのブランドイメージを構築し、国内外に発信できる提案となっているか。 ・みなと芸術センターの認知度拡大や魅力を向上させるための具体的な取組が提案されているか。 ・地域への浸透に向けた創意工夫がされており、独創性・発展性のある提案がされているか。 ・様々な場面で活用できる汎用性や展開性のある提案となっているか。	ウ		
4 2	6 8 4	8 40	6 10 8 8 8	8 (38	8 6	8 8	0	6 10			管理の的確性 ・期間内に必要な業務遂行が十分に見込めるスケジュールか。	(3) 実現性につ ア スケシ		
2 6	6 8 6	6 40	8 10 8 8 6	0 8	40	8 6	8 8	0	8 10			・業務履行が可能な人員体制、組織体制等の環境が整えられているか。 ・業務ごとに履行確認ができる体制となっているか。	イ (4) 内の対策に		
2 4	6 8 6	8 40	6 10 8 8 8	6 (36	8 4	8 8	0	6 10			・情報の管理体制は適切か。 ・著作権や商標登録について正しく理解し、適切な対応が取られているか。	(4)安全対策に ア		
80 86 4 満点 7	97 123 88 8	点 750	満点	0	750	満点	122	8 1	4 138	10		一次審査 小計②			
平均 94		均 120.6	平均	8	114.8	平均							3 見積額の記		
采点	事務局採用	40	事務局採点	0	事務局採点 40		事務局拐			・参考事業規模に対する見積額により採点 (事務局が客観的視点により採点) 708以上77.5%未満 5点、77.5%以上85%未満 4点、 85%以上92.5%未満 3点、92.5%以上100%以下 2点、70%未満 1点	1				
8 8	8 8 8	8 40	8 8 8 8	0 8	40	8	8 8	8	8 8			03.6以上92.36水洞 3 3 3 3 3 3 3 3 3	l .		
満点 1 平均 8			満点 平均			満点 平均									
104 110 5	121 147 112 10	57 763	6 170 152 138 157	4 146	724	2 113	152	8 1	4 168	13		合計 (小計①+②+③)			
満点 10 平均 118			満点 平均			満点 平均									
												事務局採点配点			
													加点項目		
0	該当しない	13	該当する		13	該当する 13		K		区内事業者の場合に、事務局採点項目の配点(満点)の合計5%を加点	区				
0	該当しない	0	該当しない		該当しない 0		該当しない 0		該当しない 0		ř.	ち ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	港区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定、厚生労働省次世代育成支援対策推進法(平成15年法律第120号)第13条の認定又は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(平成27年法律第64号)第9条若しくは第12条の認定を受けている事業者に、事務局採点項目の配点(満点)の合計を必定を受けている事業者に、事務局採点項目の配点(満点)の合計を変加。	ワーク・ライ	
0	該当しない	0	該当しない		0	該当しない 0		該当しない 0		該当しない 0		Ŕ	『者雇用がある事業	西 障害者の雇用の促進等に関する法律第43条に規定する法定雇用障害者数以上の障害者雇用がある事業者に、事務局採点項目の配点(満点)の合計5%を加点	障害
0	該当しない	0	該当しない		0	該当しない 0		該当しない 0		該当しない 0		Ŕ	いる事業者に、事務	IS014001の認証等に参加している又はMINATO再エネ100電力利用事業者認定を受けている事業者に、事業 局採点項目の配点 (満点) の5%を加点 複数の認定を得ている場合はいずれかについて加点	環境函
0	該当しない	0	該当しない		0	該当しない 0		該当しない 0		該当しない 0		Ř	5団体の構成員であ	る評価 区と災害時における協定の締結がある場合又は区と災害時における協定の締結がある団体の構成員である場合、事務局採点項目の配点(満点)の合計5%を加点	災害協定
94	594		776		737				一次審査合計(加点項目含む)						
	該当しない	0	該当しない		0		,1	iしな iしな	該当該当	ok ok	(平成27年法律第 記点 (満点) の合計 書者雇用がある事業 いる事業者に、事務	#推進企業の 第13条の認定又は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(平成27年法律第64号)等9条若しくは第12条の認定を受けている事業者に、事務局採点項目の配点(満点)の合計5%を加点 複数の認定を得ている場合はいずれかについて加点 職害者の雇用の促進等に関する法律第43条に規定する法定雇用障害者数以上の障害者雇用がある事業者に、事務局採点項目の配点(満点)の合計5%を加点	環境面		